2550

宇都宮ロータリークラブ会報

意識を喚起し ― 進んで行動を　心のこもった奉仕を目指そう

2000～2001年度　R.I.会長　フランクJ・デブリン
第2550地区ガバナー　半　田　久　一
2000～2001年度　会　長　齋　藤　一　郎
2000～2001年度　幹　事　河　上　靖　夫

■例会日　金曜日12時30分より　■例会場　宇都宮ロイヤルホテル　宇都宮市江野町11-16
■事務所　宇都宮ロイヤルホテル 530号室　TEL 028-632-0530　FAX 028-632-0560

(2001) 平成 13 年 3 月 16 日　No. 2448 回　2000 ～ 2001 年度（第 34 回会報）

会員数　137 名　　出席者　72 名　　出席率　68.5 %　　前回修正出席率　69.5 %

MU：上野泰男

ビジター紹介（青木直樹親睦活動副委員長）

川俣俊雄（宇都宮北ＲＣ）
永田正一郎（新入会員）
楡木定治（ゲストスピーカー）

新入会員

永田正一郎
（ながたしょういちろう）
昭和 13 年 3 月 13 日生まれ
鹿島建設㈱関東支店
栃木営業所所長
住所：春日部市中央 1-53-7
家族：妻・長女・次女
趣味：ゴルフ

幹事報告（河上靖夫幹事）

本日より正会員 137 名となりました。

委員会報告

社会奉仕委員会（小林利也委員長）

宇都宮市の福祉センター（すこやか荘、ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘）に遠聴支援機「みみ太郎」を 8 台寄贈することになった。21 日に市長室にて贈呈式。

親睦活動委員会（石下和毅委員長）

3 月 23 日家族会　クロードチアリショーが開催されます。現在 80 名の応募。まだ余裕があります。市内９ＲＣ親睦ゴルフ大会が 5 月 5 日開催されます。4 月 8 日締め切りです。ご参加お願いします。

ニコニコボックス委員会（宮本隆昌委員長）

結婚祝：瀬高政美
奥様誕生祝：神宮晃、塚原昭徳、小牧俊夫
池田舜一、堀井宏祐
篠崎昌平ロータリー情報委員長：
社会奉仕・国際奉仕合同クラブフォーラムが両委員長、皆様のおかげで楽しく開催されました。ありがとうございます。
堀井宏祐：初孫が誕生しました。
小林勇：ある告別式で、藤井・石島会員に見守られ滞り無く弔辞を奉呈出来ました。

プログラム紹介（藤原宏史プログラム委員長）

楡木定治様は中学校の学校長を退職後、平成元年より現在の仕事に従事されています。私の中学時代の恩師であり、熱意あふれる授業をされました。現在でも変わりなく仮出所をした身よりのない方のお世話という大変な仕事をされています。

卓　話「更正を助けて」

更生保護法人　尚徳有隣会　施設長　楡木　定治様

お招き頂、恐縮しております。ありがとうございます。資料「私の物語」をお持ちしました。

「平成 2 年に会館建設」「3 年 5 月常陸宮殿下を迎え落成式」「竹井心泉氏、船村徹氏を迎えて」「上戸祭小学校校歌を家内が作詞し作曲者渡辺貞夫さんと共に」など、この原稿は平成 10 年にサンケイ新聞に掲載されたものです。

星が丘中学校を昭和 62 年に定年となりました。青年師範学校（宇都宮高等農林学校の中に並置）時代、学徒出陣で昭和 20 年前橋の予備士官学校で 5 ヶ月を過ごし、復学し青年師範学校を卒業しました。その後、稲葉村（現在の壬生町）の青年学校に着任、以来 41 年半の教員生活を勤めました。そして東京で 2 年全国の教員団体の会長を務めます。その後 4 カ所の誘いの中から、モラロジー宇都宮北支部の伊藤様の薦めもあり、中でも一番安く骨の折れる、現在の尚徳有隣会に平成元年 3 月からお世話になりました。まもなく 12 年になりますが、大変充実しています。

施設に入所する者は、仮出所が 75 %その他執行猶予、起訴猶予、満期釈放で身元引受人がいない

―― 卓話予定 ――

3 月 30 日　「地震の話」
大林組 技術研究所エネルギー耐震グループ担当部長
宮本明倫様

者です。仮出所とは刑期の８割を良好に服役し、身元引受人が保証する受刑者に与えられるものであり、全国８カ所にある更生保護委員会（3名の学識経験者）で慎重に決定されます。これら罪を犯した人たちの更正の手助けをしています。仮出所の者には、順守事項を課し誓約させています。一般事項として「一定の所に居住し、正業に就く」「善行をする」「犯罪性のある者と交際しない」「住居の変更、長期の旅行には許可を得ること」などがあり、特別事項として「粗暴な行為をしない」「禁酒」「被害者の冥福を祈り供養と慰謝に誠意をつくす」が課せられています。それを監督する者が保護司であります。

当施設では、6名の保護司が指導、監督に当たっています。

入会者は窃盗40％、覚醒剤20％、殺人12％、詐欺10％、強盗傷害7％、その他不法侵入などとなっている。入会してくる寮生は極悪非道の犯歴と人生の敗残者で同情の余地はないが、私たちは人道・人間愛に立ち「罪は憎むが人を助ける」精神で先入観を捨て彼らを迎えています。

昨年末までに1534名入会しましたが、厳しくそして親身になって世話をさせていただいています。

大方の寮生は、目に見えない負の財産を背負って来る。供養・弁済・サラ金・疾病など限りがない、こういう状態を解決するように手ほどきをしてあげること、人権を守ることが仕事であります。

「貧すれば鈍する」「悪すれば鈍する」と言います。また、心を見抜く感覚が鋭い。「寝ていて人を起こすな」ということを戒めにしている。

保護司とは法務大臣委嘱による非常勤の国家公務員で、「社会奉仕の精神を持って、犯罪者の改善・更正と犯罪予防の世論啓発に努め、地域社会の浄化に尽くし、個人及び社会の福祉に寄与する」とある。

現在、家庭人として、人と生まれて、そして保護司としてこの仕事に就いたことに幸せを感じています。

仕事は流れる水に筆で字を書いているように、おぼつかない感じがするが自分自身も磨かれている気がする。原点に戻り、国の治安や多くの人の幸せを考えているところです。

最後に今日の下野新聞の記事ですが、3月17日・18日施設で刑務所の作品展とファッションショーを開催します。ぜひお越し頂きたい。雑ぱくな話でしたがご静聴有り難うございました。

社会奉仕・国際奉仕委員会合同クラブフォーラム開催

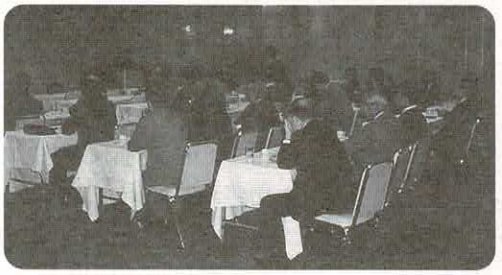
ロータリー情報委員会（篠崎昌平委員長）により3月12日合同クラブフォーラムが宇都宮ロイヤルホテルにて45名の参加で開催されました。

◎小林利也社会奉仕委員長より今年度奉仕活動報告と意見交換（社会奉仕委員会における奉仕の心）「単発的な思いこみより継続性が大切」「地域に根ざした小さな積み重ね」などの意見がありました。

◎長谷川正国際奉仕委員長より今年度奉仕活動報告と意見交換

◎堀井宏祐サンラフェール委員長より活動報告がありました。

活発な意見の後、14種類の地酒の呑み比べ、そして和食ビッフェで楽しく懇親会を催しました。

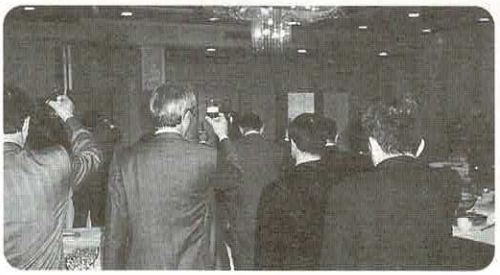


質疑応答

小林　利也
社会奉仕委員長

長谷川　正
国際奉仕委員長

堀井　宏祐
サンラフェール委員長



懇親会